

専 門 教 養
令 和 6 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
特別支援学校 自立活動

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、11ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の**選択問題を表す欄のマークは不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

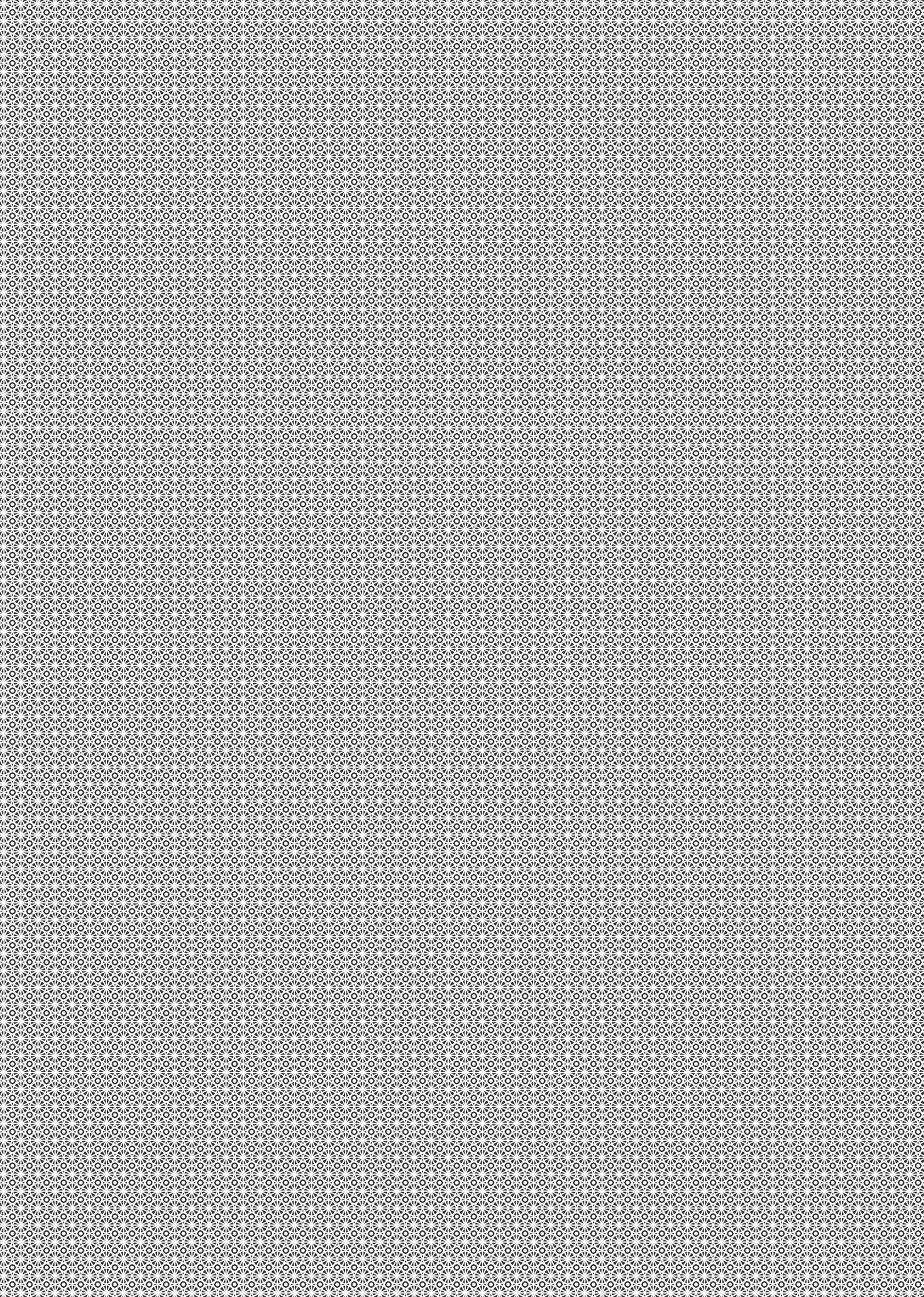
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



1 次の各問に答えよ。

[問 1] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領総則の「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、各教科及び外国語活動の目標及び内容に関する事項の全部を取り扱わないことができる。
- 2 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、各教科の各学年の目標及び内容の一部又は全部を、当該各学年より前の各学年の目標及び内容の一部又は全部によって、替えることができない。
- 3 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部の外国語科については、外国語活動の目標及び内容の一部を取り入れることができる。
- 4 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、中学部の各教科、道徳科及び特別活動の目標及び内容に関する事項の一部又は全部を、当該各教科に相当する小学部の各教科、道徳科及び特別活動の目標及び内容に関する事項の一部又は全部によって、替えることができる。

[問 2] 特別支援教育の歴史に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 1947年に、学校教育法が公布され、翌年より盲学校、聾学校及び養護学校の就学が義務化された。
- 2 1878年に、京都に京都盲啞院が設立された。
- 3 1979年に、学校教育法が改正され、特殊教育から特別支援教育へと転換し、盲学校、聾学校及び養護学校が特別支援学校へと制度が変わった。
- 4 1971年に創設された「自立活動」は、1999年に名称、目標及び内容が見直され「養護・訓練」に改められた。

[問 3] 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（中央教育審議会 令和3年1月）に示された「新時代の特別支援教育の在り方について」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 少子化により学齢期の児童生徒の数が減少する中、特別支援教育に関する理解や認識の高まり、障害のある子供の就学先決定の仕組みに関する制度の改正等により、通常の学級に在籍しながら通級による指導を受ける児童生徒が大きく減少しているなど、特別支援教育をめぐる状況が変化している。
- 2 障害のある子供の就学前の学びや支援は、特別支援学校幼稚部、幼稚園・保育所・認定こども園のほか、児童発達支援センター・児童発達支援事業所・民間の療育センターなど多様な場で行われており、特別支援教育を推進するための人的体制等は十分な状況である。
- 3 特別支援学校に在籍する児童生徒が居住する地域の学校に副次的な籍を置く取組については、居住する地域との結び付きを強めたり、居住する地域の学校との交流及び共同学習を継続的に推進したりする上でも有意義であり、その一層の普及を推進することが重要である。
- 4 高等学校において、発達障害等のある生徒の中には、本人や保護者が障害の可能性に気が付いていない場合はないので、気になる生徒の実態把握を行い、本人等の意向も踏まえつつ、卒業後を見据えた適切な指導や必要な支援を実施していくための支援体制の構築も重要である。

[問 4] 次の表は、学校教育法施行令第22条の3に示されたもののうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者の障害の程度についてまとめたものである。表中の **ア～エ**のうち、**適切でないものは**、下の**1～4**のうちのどれか。解答番号は 4。

表

	区分	障害の程度
ア	視覚障害者	両眼の視力がおおむね〇・三未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
イ	聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね三〇デシベル以上のもので、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
ウ	知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
エ	肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ

[問 5] ヒトの視機能に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 色覚とは、光の波長の違いを色として区別する感覚である。ヒトの網膜には、赤、黄、青の光を感じる3種類の錐体細胞が存在し、これらの機能不全が色覚異常の原因となる。
- 2 視力とは、2点を識別する眼の能力のことである。視力には、遠見視力と近見視力があり、遠見視力は30cmの距離で測定し、近見視力は3m前後の距離で測定する。
- 3 視野とは、正面を見ている場合に、同時に上下左右などの各方向が見える範囲である。この範囲が周囲の方から狭くなって中心付近だけが残ったものを求心性視野狭窄という。
- 4 光覚とは、光を感じる感覚のことである。明順応は、うす暗い光の中でも次第に目が慣れる現象である。明順応障害では、暗いところではほとんど見えず、夜道などを歩くのに困難を感じる。

[問 6] 難聴に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 伝音難聴とは、難聴の原因が内耳や脳にある場合をいう。
- 2 感音難聴とは、難聴の原因が外耳や中耳にある場合をいう。
- 3 難聴の聴力レベルは、軽度難聴、中等度難聴、高度難聴、重度難聴の四つの重症度に分類され、そのうち両耳の聴力レベルが高度難聴以上の場合は全ろうと判断される。
- 4 先天性難聴は、生まれたときから聴覚に障害が生じている状態であり、早期診断の方法として、耳音響放射や聴性脳幹反応がある。

[問 7] 検査に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 WISC-Vは、5歳未満の子供を対象としたもので、知能全体を示す指標である全検査IQのほか、言語理解、知覚推理、ワーキングメモリー、処理速度の能力を示す指標を検査する。
- 2 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法は、心身の発達状態を「姿勢・運動」、「認知・適応」、「言語・社会」の3つの領域で評価するもので、0歳から成人までを対象年齢としている。
- 3 新版K式発達検査2020は、発達遅滞・障害を発見し、その程度を評価する検査の一種で、0歳～4歳8か月の発達を「運動」、「社会性」、「言語」の3つの分野で把握するものである。
- 4 田中ビネー知能検査Vは、適用年齢は2歳0か月～成人であり、2歳～13歳の被検者では知能指数と精神年齢を算出し、14歳以上の被検者では偏差知能指数を算出する。

[問 8] 脳性まひの筋緊張に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 アテトーゼ型は、非常に筋緊張が高いため、筋肉がこわばり硬くなる。このため、全身の動作がぎこちなく、拘縮や変形、股関節脱臼が起こりやすくなる。
- 2 失調型は、身体の随意運動に伴って不随意運動が起こる。筋緊張が不安定なため、姿勢の安定や左右対称の姿勢を取りづらくなる。
- 3 固縮型は、上肢や下肢を屈伸する場合に、鉛の管を屈伸するような抵抗感があるものである。
- 4 瘻直型は、バランスをとるための平衡機能の障害と運動の微細なコントロールのための調節機能の障害を特徴とする。

[問 9] 先天性心疾患に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 心室中隔欠損症は、左心室と右心室を分ける心室中隔に欠損孔が存在し、この欠損孔を介して左心室から右心室への血液の短絡が起こる。大きな欠損孔では、心不全の症状が出現する。
- 2 三尖弁閉鎖症は、心室中隔欠損、肺動脈狭窄、大動脈の心室中隔への騎乗、右室肥大の4つの特徴をもつ疾患である。右心室の静脈血の一部が左心室に流入するため、大動脈から全身に送られる血液の酸素濃度が低下し、チアノーゼを起こす。
- 3 ファロー四徴症は、左心室から肺動脈が出て、右心室から大動脈が出る。
- 4 完全大血管転位症は、右心房と右心室の間にある弁が閉鎖している心疾患である。心房中隔欠損症を合併することが多い。

[問10] 自閉症の特徴に関する記述として**適切でないもの**は、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 他人と相互的なコミュニケーションを取ることが苦手である。
- 2 言葉の発達の遅れについては、言語の理解や使用に発達の遅れは全く見られない。
- 3 興味や関心が狭く特定のものにこだわる。
- 4 自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる。

[問11] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領自立活動の「内容」の「心理的な安定」に示されている項目として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 病気の状態の理解と生活管理に関すること。
- 2 状況の理解と変化への対応に関すること。
- 3 自己の理解と行動の調整に関すること。
- 4 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。

[問12] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領自立活動の「個別の指導計画の作成と内容の取扱い」において、個別の指導計画の作成に当たって配慮するものとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 個々の児童又は生徒について、障害の状態、発達や経験の程度、生活や学習環境などの実態を的確に把握するが、興味・関心の実態は把握しないこと。
- 2 児童又は生徒の実態把握に基づいて得られた指導すべき課題相互の関連を検討しないこと。
- 3 児童又は生徒の学習状況や結果を適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に必ず生かさなければならないものとする。
- 4 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の指導と密接な関連を保つようにし、計画的、組織的に指導が行われるようにするものとする。

[問13] 弱視レンズに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 遠用弱視レンズは、手持ち型、眼鏡型、卓上型に分けられ、手持ち型は小さく携帯性に富み、目とレンズ、レンズと対象物の距離を調整できるため、使う場面や見え方に合わせてピントを調節することができる。
- 2 近用弱視レンズは、短い距離でもピントが合うように作られていて、黒板や掲示板、壁の時計、駅の時刻表などを見るのに用いる。
- 3 弱視レンズは、倍率が高くなると、実視界も明るく広がってしまう。
- 4 弱視レンズは、使う人の視力、眼疾患、年齢、使用場面などによって選定する。

[問14] 触図に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

14。

- 1 ゴム製の下敷きの上に専用のセロハン紙を載せ、表面にボールペンで図を描く。ボールペンによってセロハン紙にできる「ひっかき傷」を指で触って読む触図を点図という。
- 2 点字と同じように、紙に点で図を描き、図や表の中に文字を入れたいときや同じページに図と文章を入れたいときに使う触図をサーモフォームという。
- 3 発泡剤のマイクロカプセルを塗った特殊な紙に図をコピーし、ランプの下を通すと黒い部分が熱を吸収して発泡し、盛り上がる触図を立体コピーという。
- 4 凹凸のある原版に専用のプラスチックシートを被せ、真空成型機という複写機にかけるシートを加熱し軟らかくした後、下から空気を抜き、シートを原版に密着させて、原版どおりの凸図を写し取る触図をレーズライターという。

[問15] 人工内耳に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

15。

- 1 外来の音をマイクロホンで受けて電氣的に増幅し、イヤホンで再び音に変えて耳に送り込むものである。
- 2 蝸牛を電気刺激することによって音の聴取を可能にさせる人工臓器である。
- 3 人工内耳により知覚された音は、通常知覚される音の性質とは異なっているが、人工内耳埋め込み後、この音を言語情報として認識するための言語訓練を受ける必要はない。
- 4 補聴器と同じように試聴を経てから装用することができる。

[問16] 聴覚障害教育における言語指導に関する記述として、「聴覚障害教育の手引 言語に関する指導の充実を目指して」（文部科学省 令和2年3月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 学習言語は、乳幼児期からの親しい人とのコミュニケーションを通じて習得される基礎的な言葉であり、遊びや生活など具体的な場面や活動の中で経験した事柄と言葉とを結び付けながら身に付けていく。
- 2 生活言語は、言葉で言葉の意味を伝えることができる言語であり、主に学校での学習を通じて習得されていく言葉である。
- 3 日本語対応手話は、日本語の語順に手話を配列して表現するため、名詞や動詞のような単語の意味は伝わりにくい。
- 4 日本手話には助詞はないが、日本語では助詞を使って表される様々な文法的内容が、日本手話では動詞の語形変化や指さしなどの手話の中に存在し、日本語とは異なる文法で表される。

[問17] 次の記述は、摂食機能における、ある異常パターン動作に関するものである。この異常パターン動作として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

食物や飲み物が口に近づいたときに下顎が突然大きく開いたままになる状態である。

- 1 舌突出
- 2 緊張性咬反射
- 3 過開口
- 4 丸飲み込み

[問18] 次の表は、法令に定める資格をまとめたものであり、表中の**ア**～**エ**には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師のいずれかが当てはまる。**ア**に当てはまるものとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 18。

表

ア	厚生労働大臣の免許を受けて、音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図るため、言語訓練その他の訓練、これに必要な検査及び助言、指導その他の援助を行うことを業とする者である。
イ	厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることを行うことを業とする者である。
ウ	厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行わせることを行うことを業とする者である。
エ	保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析することなどを行うことを業とする者である。

- 1 理学療法士
- 2 作業療法士
- 3 言語聴覚士
- 4 公認心理師

[問19] 次の記述は、言語発達における、ある検査に関するものである。この検査として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 19。

乳幼児の言語やコミュニケーションの発達に関する知見に基づいて作られた検査法で、適用年齢は0歳から6歳となっている。語彙、文法、対人的なやりとり（コミュニケーション）などについて検査をすることで、言語コミュニケーション年齢と言語コミュニケーション指数、下位領域である「言語表出」、「言語理解」、「コミュニケーション」のそれぞれにおける言語コミュニケーション年齢と言語コミュニケーション指数を求めることができる。

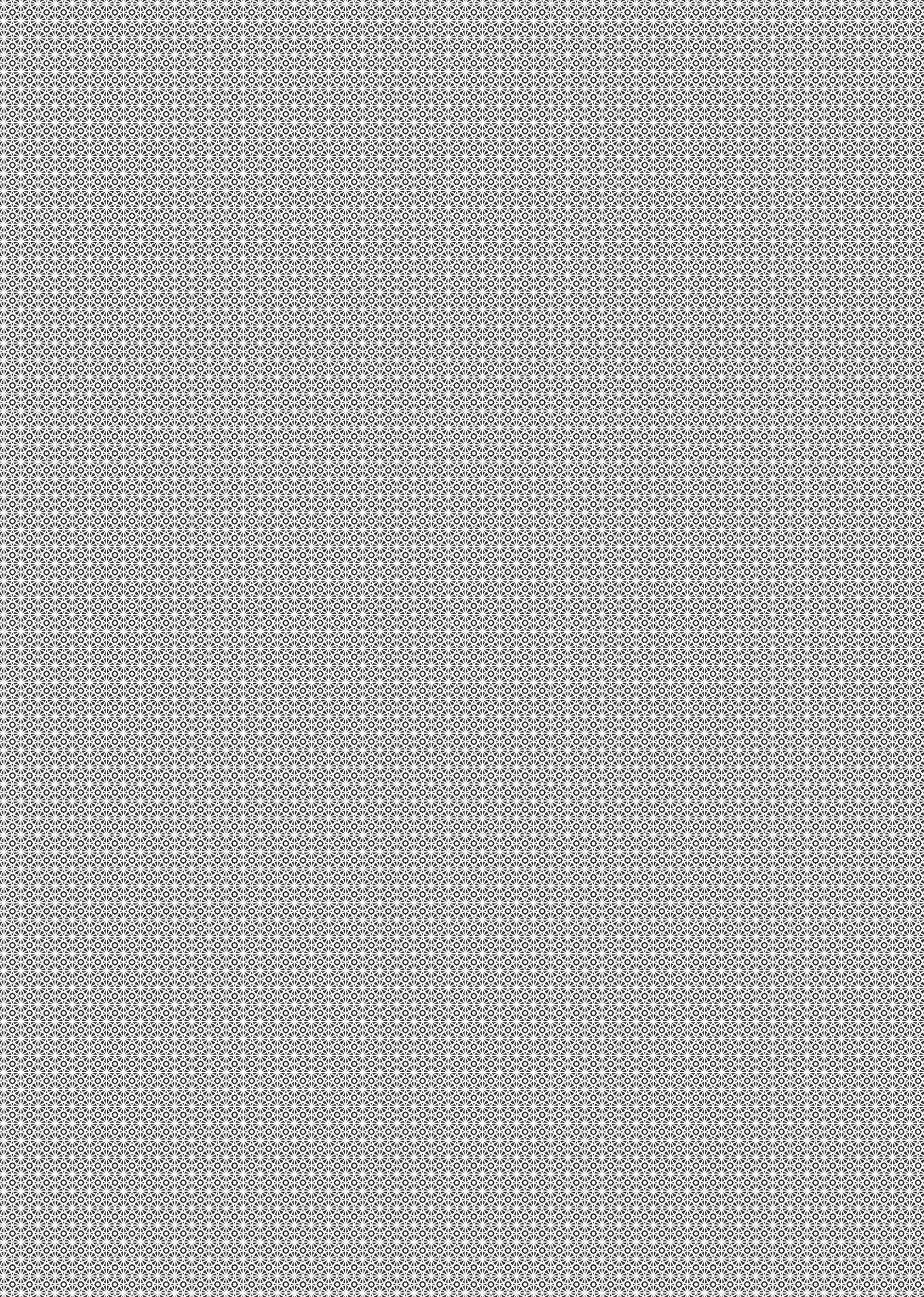
- 1 PVT-R 絵画語い発達検査
- 2 ことばのテストえほん
- 3 LCスケール
- 4 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査

[問20] 構音障害に関する次の記述ア～ウと、下の構音障害の名称A～Cとの組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 20。

- ア** 口唇、舌、歯等の構音器官の構造や、それらの器官の機能の異常が原因となって生ずるものである。
- イ** 聴覚、構音器官などに器質的疾患がなく、成長過程での構音の習得において誤った構音が固定したと考えられるものである。
- ウ** 中枢から末梢に至る筋肉や神経の異常によって構音器官に運動障害が起こり、正常な音がつくれないものである。

- A 運動障害性構音障害
B 機能性構音障害
C 器質性構音障害

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B | ウ-C |
| 2 | ア-B | イ-C | ウ-A |
| 3 | ア-C | イ-A | ウ-B |
| 4 | ア-C | イ-B | ウ-A |



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの \square には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の（例2）のようにマークします。

解答番号	解答欄
(例2) $\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の（例3）のように

マークします。

解答番号	解答欄
(例3) $\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。